

日本発インシュアテックの挑戦 7

(株)ミライズ

顧客本位の金融サービス確立へ

金融工学とAIでプラットフォーム運用

「テクノロジーを用いて金融を再構築する」をミッションに事業展開している(株)ミライズ(東京都港区)は、金融工学とAI研究・開発・運用を統合したウェブプラットフォーム「miruize」を開発・運用している。インシュアテックソリューションとしては保険証券の管理・診断ができる無料アプリ「miruh」を提供しており、大手乗合代理店を中心に活用が広がっている。「AI、IT、金融工学の力を駆使し、顧客本位に沿った金融サービスの確立を目指す」と語る田中徹社長に、同社の事業内容や今後の展開などについて聞いた。



田中社長

田中社長は東京大学を卒業後、旧富士銀行(現みずほ銀行)でデリバティブトレーディング、リスク管理、クレジット投資などを経験するともに、米国においてリスク管理業務でニューヨーク連邦準備銀行などを担当した。その中で自らもコーディングを開始し、そ



「miruh」の画面イメージ

の後は金融ソフトウェア業界を経て2009年4月に同社を設立した。同社の強みは、金融におけるAI、ヘッジファンド運用、リスク管理、ファイナンシャルプランニング(FP)を中心に知識が豊富なメンバーが

ソリューションを提供するサービス「AI Data Bank」、金融機関が保有する多種多様な市場系取引のポジションのリスク量をタイムリーに分析する経営サポートサービス「AcruX」、AIや各種分析で

ラウドプラットフォーム「miruize」、FPやIFAが顧客向けに提案できるシミュレーションツール「miruize Pro」、無料・簡易版ライフプランシミュレーションツール「おカネ」の提供、専属FPにオン

有者のスキル・モラルの底上げを目的とした「FPの学校」など、多岐にわたるツール・サービスを提供している。インシュアテックソリューションとして提供している「miruh」は、保険証券をスマートフォンで撮影するだけで、保険の内容をデータ化し、一括管理するアプリだ。保険契約者はスマートフォンなどにアプリをダウンロードして使用することで、保険の内容や年間・生涯にかかる保

料を見える化することができ、証券管理機能の他にファミリー共有機能が搭載されていることから、家族間で情報共有が可能だ。また、レビュー機能も搭載されており、FPが保険診断を行うフィードバックを返すこともできる。

保険証券管理・診断無料アプリも提供

多数在籍していること。その強みを生かして現在は、時系列データと機械学習・深層学習により企業の業績などを予測するAI分析ツール「miruize Forecas

t」、銀行と同社が連携して顧客にAIを使った利用するためのビッグデータ基盤「miruize Alternativ

e Data」などを開発・運用している。また、人生設計をサポートするサービスとして、ライフプランニングや資産負債管理の統合ク

ライオン相談・メール相談ができるサービス「家計見直し隊」、「お金」がテーマのオンライン配信番組「マネートーク」や無料Q&Aサイト「お金の窓口」、AIの人材教育を目的とした「金融AIの学校」、FP資格保

険料を見える化することができ、証券管理機能の他にファミリー共有機能が搭載されていることから、家族間で情報共有が可能だ。また、レビュー機能も搭載されており、FPが保険診断を行うフィードバックを返すこともできる。

同社では、コロナ禍において新たな保険営業スタイルが求められていることや、新しく「金融サービス仲介業」が創設されることを見据え、FPによるコンサルティングや保険契約まで一気通貫で提供できる仕組みを整えるため、今後は保険代理店事業への参入を検討している。また、セキュリティアと個人情報の取り扱いの観点から情報銀行(注)への参入も視野に入れて事業展開していくとしている。

田中社長は「保険業界はデジタル化が進んでいるが、AIに加えてGPSデータやオルタナティブデータなどを活用することで、さらなる営業効率や生産性の向上を図ることができると考えている。そういった観点からも保険業界に貢献していきたい」と語る。

(注) 行動履歴や購買履歴といったものを含む個人情報にひも付いたITデータを個人から預託され、他の事業者とのマッチングや匿名化した上での情報提供、一元管理する制度あるいは事業者を指す。